

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ゆめキッズ
------	-------

公表日 令和7年4月3日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や課題改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・基準を満たしています
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・状況に応じて、1対1の支援をしています
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・空間をパーテーションで区切り、過ごしやすく環境を整えています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・休息したい時はソファで休息をとるなど場面で過ごし方を変えれるようにしております
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・状況により個室を使うことが出来るようにしています
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・会議等で振り返りを行っています
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	5	・アンケートで保護者様のご意見をお聞きし、今後の業務改善へつなげています
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	・会議等で職員同士意見交換を行いながら業務改善につなげています
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	・第三者評価は行っておりません
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	・研修には積極的に参加できるようにしています
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	2	・HPにて公表しております
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	2	・契約時に保護者様のご希望やお子様のごえを聞きながら計画作成を行っております
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	・計画書はスタッフ間で共有し計画に沿った支援を行っています。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	5	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	5	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・活動プログラムに関しては利用者様に合わせて会議を行いながら決定しています
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・随時振り返りを行い、見直しをしています

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・情報共有をスタッフ間で行いながら、日々の支援の内容を確認しています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・気づき等は記録しスタッフ間で共有しています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・日々個々の記録を取り随時振り返りを行っています
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・半年ごとにモニタリングを行い必要に応じて計画の立て直ししている
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・基本的には児童発達管理責任者と保育士が参加するようにしています
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・提携医療機関を始め、主治医や訪問看護等連携を図りながら支援を行う体制作りをおこなっています
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2	・学校送迎時に情報共有は密に行っています
	28	(28~30は、センターのみ回答)	8		
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8		・研修の機会があれば積極的に参加したいと思います
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8		・毎回参加しています
	31	(31は、事業所のみ回答)			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		8	・なかなかそうのような機会を設けることが出来ていません。
母	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	5	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	・家族様が参加できる研修等の機会を設ける事は出来ていません
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	・契約時に保護者様にはお話しをしています
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		・保護者様に確認して頂き、同意を得ています
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	2	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8	・現在そういう機会を設けることが出来ていません
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・相談があった場合は真摯にかつ迅速に
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	8		・個人情報の取り扱いには十分注意しております
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1	7	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	・マニュアルを作成し契約時に説明しています
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	・定期的に行っていく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・ヒヤリハットの案件は記録として残し、再発防止に努めています
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・虐待防止委員会があり、スタッフへの研修を行っています
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		